

藤枝守 | 作曲・構成

カリフォルニア大学サンディエゴ校音楽学部博士課程終了。博士号 (Ph.D.in Music) を取得。植物の電位変化データに基づく《植物文様》を展開。ソーシャルアトラボにおいて、「甕の音なひ」や「松楠居の茶三昧」の制作に関わる。現在、九州大学大学院芸術工学研究院教授。

宮嶋美紀 | 織匠

2010年、博多織デベロップメント・カレッジに5期生として入学。2013年に卒業し、福岡市博多区の「おりおり堂」で創作活動に入る。2014年、「第112回博多織求評会」で経済産業大臣賞を受賞。博多織手織技能修士。

黒岩俊哉 | 映像

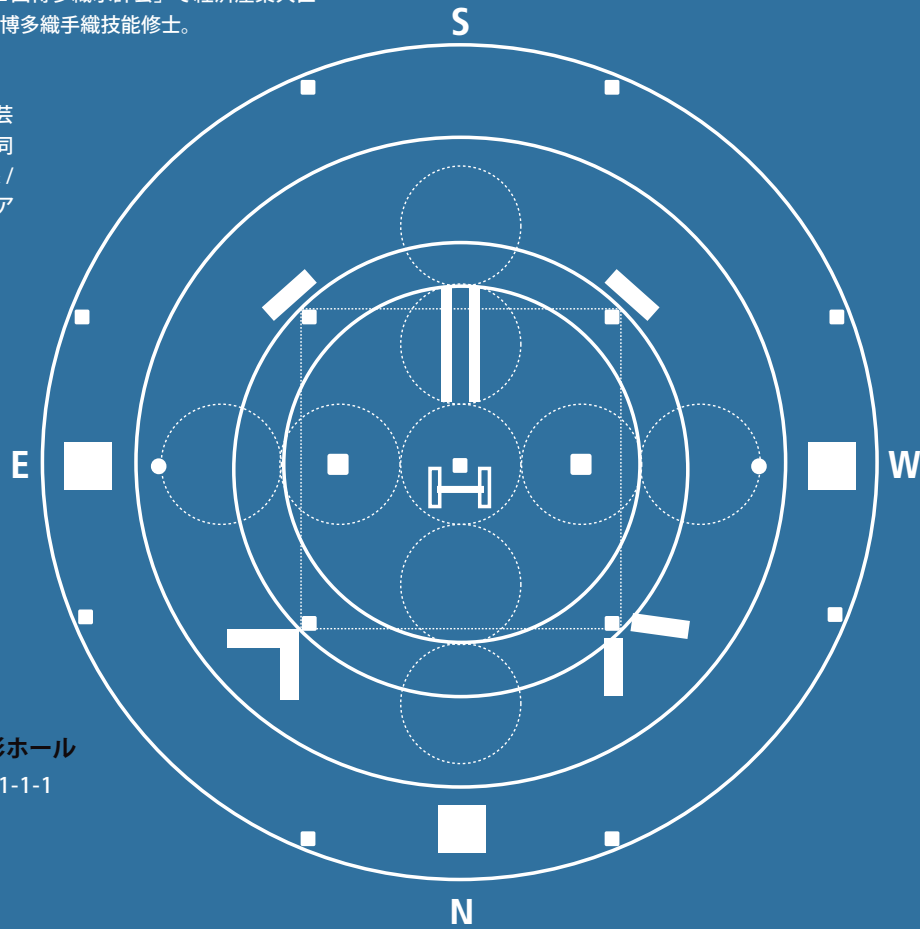
1966生まれ。実験映像作家。九州産業大学芸術学部芸術表現学科メディア芸術専攻教授。同大学院造形表現研究科教授。近年では映像/舞台/パフォーマンス/音楽が融合するメディア芸術作品を多く手がけている。

2017年12月15日 (金)

第1回 開場：16:30 | 開演：17:00

第2回 開場：19:00 | 開演：19:30

アクロス福岡円形ホール
福岡市中央区天神 1-1-1



現代舞楽「織・曼荼羅^{はたおと}～博多織の機音による」

織機から収録された振動とイメージが駆動するシアター作品

「トーン、ト、トントン」と鼓動のような機音の響き。その独特な律動のなかで、無数の経糸を一本の緯糸が横断するたびに博多織の文様がかたちづくられる。われわれが目にするその文様は、織匠の数え切れないほどの反復運動の軌跡。その身体的な動きが織機と一体となった機音の律動は、まさに織匠の息そのものであり、そのゆらぎに満ちた息のなかで文様は、整然とした成長を続ける。「織・曼荼羅」と名づけられた現代の舞楽は、終始、この機音の律動のなかで展開する。北を正面とする円形の舞台では、織機のさまざま「ふるえ」が四方や中心に設置された五つのスピーカーによって再生される。

稼働する織機が曼荼羅に転写されたような音響空間のなかで、その中心に銅鑼が据えられ、一対のガムランや箏、笙の楽器群がシンメトリに配される。その舞台の光景は、織姫伝説の七夕（棚機）の行事のもとになった古代中国の乞巧奠^{せきこうでん}の祭壇のようにみえる。そして、その円形の舞台の左方、右方から登場する二人の舞は、「棚機女～たなばたつめ」の化身として、あるいは、経と緯の糸として、機音の律動のなかで渦のような軌跡を縫うようにたどる。曼荼羅のなかで演じられるすべては、「織り」がもつ神話性と象徴を呼び覚ましながら、機音の律動とともに「みえない織物」が円形の舞台のうえに編み込まれていく。(藤枝守)

主催 九州大学ソーシャルアトラボ
共催 公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団
後援 福岡県、福岡市、日本アートマネジメント学会九州部会
協力 九州産業大学芸術学部黒岩研究室
博多織デベロップメント・カレッジ
助成 平成29年度 文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」

チケット情報

前売り：2,000円 | 当日：2,500円

- ・ スリーオクロック (郵送販売)
TEL: 092-732-1688
- ・ チケットぴあ
TEL: 0570-02-9999
【Pコード：482-283】
取扱店: チケットぴあ店舗、セブン-イレブン、サークルK・サンクス

www.sal.design.kyushu-u.ac.jp

石川高 | 笙

雅楽団体「伶楽舎」に所属し、雅楽古典曲や現代作品を演奏している。笙の独奏者としても、様々なアーティストと共に、新たな音楽の次元を開拓してきた。

田島和枝 | 笙

タングルウッド音楽祭、坂本龍一のCD参加等、雅楽古典曲から現代曲まで多方面で演奏活動を行う。雅楽演奏団体「伶楽舎」に所属。「おとのひとひら」主宰。

中川佳代子 | 箏

1994年青山音楽賞。1998年文化庁芸術研修員認定。2002年賢順全国箏曲コンクール最高位「賢順賞」受賞。2013年京都市芸術文化協会新人賞受賞。京都、松尾大社の観月祭にて奉納演奏を行う。

丸田美紀 | 箏

'Natural' に、表現としての箏の音世界を、その柔軟な感性と適応力で多岐に渡りコラボレーションを展開。ソロアルバム「鳥のように」をリリース。沢井忠夫・一恵に師事。

有泉汐織 | 舞

8歳よりクラシックバレエを始める。2013年立教大学現代心理学部映像身体学科に入学し、チョン・ヨンドウ氏に師事。2016年9月より Nect ダンサーとして所属。現在は流留ダンサーとして活動。

杉本音音 | 舞

4歳より新体操とクラシックバレエを始める。2015年立教大学現代心理学部映像身体学科入学。現在は、チョン・ヨンドウ氏に師事のもと、流留ダンサーとして活動中。

裴永珍 (ペヨンジン) | 銅鑼

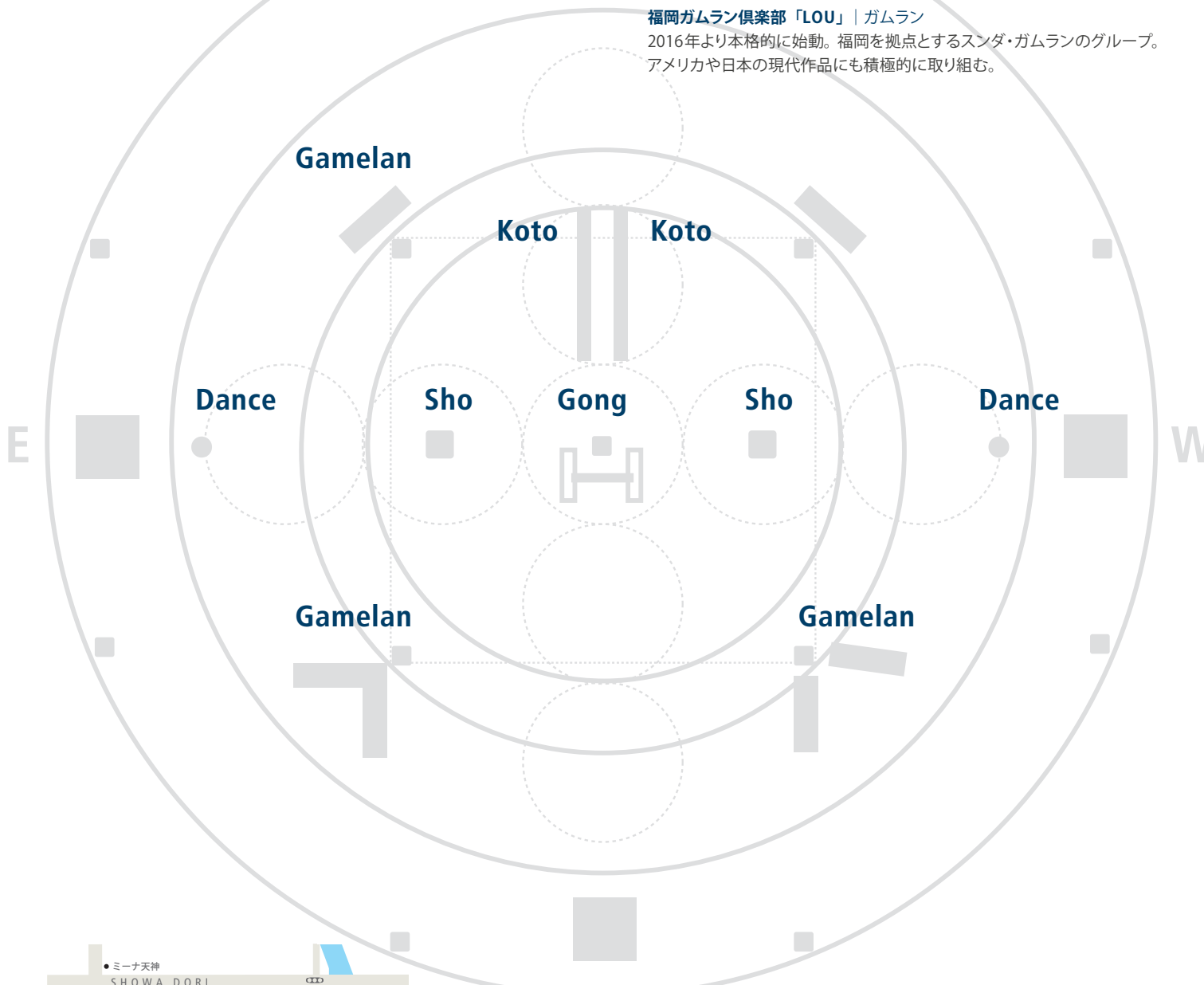
韓国古来の伝統的打楽器であるチャング (杖鼓) の演奏家。ソングジュ農楽競演大会で最優秀賞・大賞を受賞。様々なジャンルの演奏家との共演を通して、日韓伝統音楽の新たな試みと独自の音世界を探求している。

パラグナ・グループ | ガムラン

1985年結成。インドネシア・スンダ (西ジャワ) 音楽のグループとして、東京を拠点にガムラン・ドゥグン、トゥンパン・スンダの演奏活動を行っている。古典曲の他、現代作品も精力的に演奏し、幅広く活動している。

福岡ガムラン倶楽部「LOU」 | ガムラン

2016年より本格的に始動。福岡を拠点とするスンダ・ガムランのグループ。アメリカや日本の現代作品にも積極的に取り組む。



アクロス福岡円形ホール
福岡市中央区天神 1-1-1

音響 須藤力 (モルグ社)
音響システム 九州大学尾本研究室
広報デザイン 池田美奈子、石原伊都子
制作 九州大学ソーシャルアートラボ

お問い合わせ: 九州大学ソーシャルアートラボ
TEL&FAX: 092-553-4552
MAIL: sal@design.kyushu-u.ac.jp



Faculty of Design
Graduate School of Design
School of Design
Kyushu University

